

【球技】（ベースボール型：ソフトボール）

1 運動の特性

（1）一般的特性

○機能的特性

〈ベースボール型共通〉 ・ボールなどを媒介として、集団対集団の攻防から得点を競い合うところ楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。

〈ソフトボール〉 ・ソフトボールは、ボールをバットやグローブで操作しながら、集団対集団での攻防を繰り返し、一定の回数内で得点を競い合うところ楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。

○構造的特性

〈ベースボール型共通〉 ・身体や用具の操作を通じた攻撃と守備から成る運動である。

〈ソフトボール〉 ・ソフトボールは身体やバットの操作と走塁での攻撃と、ボール操作と連携し合う守備から成る運動である。

○効果的特性

〈ベースボール型共通〉 ・練習や作戦を工夫することで、集団意識を高めることができる。

・身体やボール、用具を操作して攻守を展開する動きを通して、瞬発力、敏捷性、巧緻性を高めることができる。

〈ソフトボール〉 ・自己の責任を自覚してその責任を果たしたり、助け合い励まし合うことによって、社会生活に必要な態度を養うことができる。

・ボールを身体やバット、グローブで操作したり、状況に応じた走塁、守備を行うことにより、瞬発力、敏捷性、巧緻性などを高めることができる。

（2）中学生から見た特性

- ・攻撃と防御がはっきりと分かれているので、目的を明確に持ってプレーすることができる。
- ・巧みなバット操作で鋭い打球を打ったり、力強いスイングで守備者の頭上を打球が越えたりすることで、攻撃の楽しさを味わうことができる。
- ・自己犠牲のバントやゴロ打ちによって、ランナーを進塁させたり、得点することでチームワークが向上し、勝利に貢献できる喜びや楽しさを味わうことができる。
- ・守備では役割を分担できるので、体力や技能に応じた守備位置でプレーに参加できる。
- ・小さく速い動きのボールを処理したり、バット操作の技能は難しく、技能の習得に時間がかかる。
- ・責任の所在がはっきりしてしまうため、ミスを恐れ、動きが小さくなってしまう。
- ・連携プレーや工夫した作戦で得点が決まったときに、集団での喜びを見いだせる。

2 学習のねらい

○技能

[第1学年及び第2学年]

- ・基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防を展開することができるようにする。

[第3学年]

- ・安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作、連携した守備などによって攻防を展開することができるようにする。

ベースボール型のバット操作やボール操作とボールを持たないときの動きの例

	小学校5．6年	中学校1．2年	中学校3年
バット操作	<ul style="list-style-type: none"> 止まったボール，易しいボールを打つ 	<ul style="list-style-type: none"> 肩越しでのバットの構え 水平になるようなスイング タイミングを合わせた打撃 	<ul style="list-style-type: none"> 体の軸を安定させたスイング 高さやコースへのタイミング ねらった方向への打ち返し
ボール操作	<ul style="list-style-type: none"> 移動を伴う捕球 オーバーハンドスロー 	<ul style="list-style-type: none"> ゆるい打球に対応した捕球 大きな動作での送球 正面の送球をうける 	<ul style="list-style-type: none"> 最短距離で移動した捕球 一連の動きでの送球 タイミングよく送球を受けたり中継したりする
ボールを持たないときの動き	<ul style="list-style-type: none"> 簡易化されたゲームでの状況に応じた走塁 	<ul style="list-style-type: none"> 全力疾走での塁への駆け抜け 減速，反転による塁上での停止 	<ul style="list-style-type: none"> 円を描く走塁 打球に応じた進塁
		<ul style="list-style-type: none"> 守備位置での準備姿勢 ポジションごとの基本的な動き 	<ul style="list-style-type: none"> 進塁先のベースカバー 中継プレイに備える動き ダブルプレイに備える動き

○態度

[第1学年及び第2学年]

- 球技に積極的に取り組むとともに，フェアなプレイを守ろうとすること，分担した役割を果たそうとすること，作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや，健康・安全に気を配ることができるようにする。

[第3学年]

- 球技に自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとするなど，自己の責任を果たそうとすること，作戦などについての話し合いに貢献しようとするなどや，健康・安全を確保することができるようにする。

○知識，思考・判断

[第1学年及び第2学年]

- 球技の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，関連して高まる体力などを理解し，課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。

[第3学年]

- 技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解し，自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。

3 評価規準

[第1学年及び第2学年]

【内容のまとめりごとの評価規準】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアなプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話合いに参加しようとするなどや、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。	球技を豊かに実践するための学習課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。	球技の特性に応じて、ゲームを展開するための基本的な技能や仲間と連携した動きを身に付けている。	球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力、試合の行い方を理解している。

【単元の評価規準】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> 球技の学習に積極的に取り組もうとしている。 フェアなプレイを守ろうとしている。 分担した役割を果たそうとしている。 作戦などについての話合いに参加しようとしている。 仲間の学習を援助しようとしている。 健康・安全に留意している。 	<ul style="list-style-type: none"> ボール操作やボールを持たないときの動きなどの技術を身に付けるための運動の行い方のポイントを見付けている。 自己やチームの課題を見付けている。 提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。 仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた協力の仕方を見付けている。 学習した安全上の留意点を他の練習場面や試合場面に当てはめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ベースボール型では、攻防を展開するための基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などの動きができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 球技の特性や成り立ちについて、学習した具体例を挙げている。 技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。 球技に関連して高まる体力について、学習した具体例を挙げている。 試合の行い方について学習した具体例を挙げている。

【「ベースボール型：ソフトボール」学習活動に即した評価規準】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
<p>①仲間とともに協力しながら活動し、ソフトボールの楽しさや喜びを積極的に味わおうとしている。(行動観察)</p> <p>②フェアなプレイを心がけ、セルフジャッジを行おうとしている。(行動観察)</p> <p>③道具の準備・片付けや場の設定など、分担した役割に積極的に取り組もうとしている。(行動観察)</p> <p>④守備や攻撃の作戦についての話し合いに参加しようとしている。(行動観察・学習カード)</p> <p>⑤仲間のプレイに対してアドバイスしようとしている。(行動観察・学習カード)</p> <p>⑥体力や体調の変化、用具や練習場所の安全に配慮して活動している。(行動観察)</p>	<p>①学習資料や仲間の助言から合理的なプレイを選択している。(行動観察・学習カード)</p> <p>②自分やチームの実態に応じた課題を見付けている。(実技観察・学習カード)</p> <p>③提示された課題解決のための練習方法の中から、自己やチームの実態に適した練習を選択している。(実技観察・学習カード)</p> <p>④チーム内で自分に任された役割について、仲間と協力できる場面を見付けている。(行動観察)</p> <p>⑤学習した安全上の留意点を練習場所や試合場に当てはめている。(行動観察)</p>	<p>①スムーズなバット操作で力強い打球を打つことができる。(実技観察)</p> <p>②打球や送球に備えて捕球しやすい守備位置に動くことができる。(実技観察)</p> <p>③打球に応じたグラブ操作でボールを捕球し、ねらった方向にボールを投げるができる。(実技観察)</p> <p>④積極的な走塁で先の塁をねらうことができる。(実技観察)</p>	<p>①ソフトボールの特性や成り立ちについて、言ったり書き出したりしている。(学習カード・発言)</p> <p>②プレイの名称や系統性、技能の構造について理解し、練習や試合の場面で技術的なポイントを答えたり書き出したりしている。(発言・学習カード)</p> <p>③ソフトボールの学習に関連して高まる体力を書き出したりしている。(学習ノート)</p> <p>④ソフトボールのルールを理解し、正しい知識を言ったり書き出したりしている。(実技観察・発言)</p>

【第3学年】

【内容のまとめりごとの評価規準】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
<p>球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアなプレイを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事などや、健康・安全を確保して、学習に自主的に取り組もうとしている。</p>	<p>生涯にわたって球技を豊に実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。</p>	<p>球技の特性に応じて、ゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを身に付けている。</p>	<p>技能の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法、試合の行い方を理解している。</p>

【単元の評価規準】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> 球技の学習に自主的に取り組もうとしている。 フェアなプレイを大切にしようとしている。 自己の責任を果たそうとしている。 作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。 互いに助け合い教え合おうとしている。 健康・安全を確保している。 	<ul style="list-style-type: none"> 提供された作戦や戦術から自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選んでいる。 仲間に対して、技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。 作戦などの話し合いの場面で、合意を形成するための適切なかわり方を見付けている。 健康や安全を確保するために、体調に応じて適切な練習方法を選んでいる。 球技を継続して楽しむための自己に適したかわり方を見付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ベースボール型では、攻防を展開するための安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などの動きができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 技術の名称や行い方について学習した具体例を挙げている。 球技に関連した体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。 運動観察の方法について、理解したことを言ったり書き出したりしている。 試合の行い方について、学習した具体例を挙げている。

【「ベースボール型：ソフトボール」学習活動に即した評価規準】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
<ol style="list-style-type: none"> 仲間とともに協力しながら活動し、ソフトボールの楽しさや喜びを自主的に味わおうとしている。(行動観察) 練習や試合等で仲間の指示や審判の判定に公正な態度で取り組もうとしている。(行動観察) 練習や試合においてチーム内での自己の役割を責任をもって果たそうとしている。(行動観察) 戦術や仲間へのアドバイスを自主的に行おうとしている。(行動観察・学習カード) うまくできた、できなかったポイントをアドバイスしようとしている。(行動観察・学習カード) 練習や試合の場面で、周囲の状況や仲間の体調に応じて活動し、安全を確保している。(行動観察) 	<ol style="list-style-type: none"> 相手チーム、自分のチームの特徴を把握し、打順・守備位置等作戦を選択している。(実技観察, 学習カード) 個人やチームの課題がわかり練習方法を工夫している(行動観察, 学習カード) チームの話し合いの中でお互いに意見を出し合い、ひとつの方向性を見付けている。(行動観察) お互いの体力や体調の現状に応じて、適切な練習方法を選択している。(行動観察) 自分の力を知り、それに応じた役割に取り組んでいる。(行動観察) 	<ol style="list-style-type: none"> 高さ・コースや試合の状況に合わせた打撃ができる。(実技観察) 打球や状況に応じた走塁ができる。(実技観察) 捕球から送球まで一連の動作で行うことができる。(実技観察) 仲間と連携した守備を行うことができる。(実技観察) 	<ol style="list-style-type: none"> 技術の名称や行い方について学習した具体例を挙げている。(学習カード・発言) ソフトボールの学習に関連した体力の高め方について具体例を書き出している。(学習カード) 仲間同士で運動観察を行う際の技術ポイントを言ったり、書き出したりしている。(学習カード・発言) ソフトボールのルールについて理解し、ゲームの状況に応じた正しい判断を言ったり、書き出したりしている。(実技観察・発言)

4 授業展開及び指導・評価計画

ベースボール型：ソフトボール[第1学年及び第2学年]

(12時間計画)

過程	学習内容と活動	指導・支援(○)と評価(☆)
はじめ	<p>1 オリエンテーションを行う。 ○単元の目標、ソフトボールの特性を理解し、学習の見通しを持つ。 ○学習の進め方を知る(約束事・練習の進め方・学習カードの使い方)</p> <p>2 グループ編成と役割分担を決める。 ○班長(経験者)を中心に話し合う。</p> <p>3 準備運動、グループ練習、ソフトボールのルールについて知る。</p>	<p>○プリントや補助教材を用いて、ソフトボールの特性を理解させる。 ○学習カードを利用し、学習の進め方を理解させ、見通しを持たせる。</p> <p>○始めに班長を決めた後、男女混合で1グループ6～7人のグループを作る。</p> <p>○グループ練習の例を示しながら、その効果や方法、ルール等を理解させる。 ○活動場所の安全確保について理解させる。</p> <p>☆【関・意・態】① ☆【知・理】①</p>
なか	<div data-bbox="264 1122 1398 1200" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>ねらい① 基本的なバット操作を身に付け、強い打球を打てるようにする</p> </div> <p>1 個人的技能を身に付ける。 (1) キャッチボール ○2人1組で行い、5～6mの距離から少しづつ距離を伸ばす。 (2) トスバッティング(写真8参照) ○2人1組で行い、ワンバウンドで相手に打ち返す。</p> <p>2 集団的技能を身に付ける。 (1) ハーフバッティング(写真7参照) ○投げては下からボールをトスする。 ○50%～80%の力で、力を抜いてセンター方向に打ち返す。 ○守備者はセンター方向を中心に守る。 (2) シートバッティング ○打者はひっぱりを意識する(右打者は左方向・左打者は右方向)。 ○守備者はボール捕球後、アウトゾーンまでボールを送球する(ゴロ・フライ)。 ○守備者は定位置に守備し、適時、打撃者と交代する(1打席は5スイング程度)。</p>	<p>○相手の胸を目標に、捕りやすいボールを投げることができるようさせる。 ○肩、肘、手首の使い方、膝の使い方を理解させる。 ○投げ手が打ちやすいところに投げることが大切であることを理解させる。</p> <p>○ボールをとらえるタイミングやミートポイントをつかませる。 ○攻撃中心の練習であるが、守備者は守備練習のつもりでゴロやフライを捕るようさせる。 ○通常の試合場で行うので、道具や練習場所の安全に留意して行わせる。 ○タイミングを合わせてバットを振り抜き、力強い打球が打てるようにする。 ○自己の課題を解決するために適した練習方法を選択できるようにさせる。 ○攻防の練習であることを意識させ、守備者には正確にアウトゾーンまでボールを送球させ、打球や送球に備えた動きを身に付けさせる。</p>

	<p>3 ゲーム (写真4, 5, 6 参照) (1) 簡易ルールで練習ゲーム</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・セルフジャッジ ・時間制 (15分 2回が目標) ・1度決めた打順を回ごとに変更してはいけない。 ・その他, 細かいルールに関しては指導資料の6-(2) 参照。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○試合を通してソフトボールのルールを理解させセルフジャッジでゲームを行わせる。 ○ジャッジ上の疑義に対しては教師が適切なアドバイスを与える。 ○道具や場の設定など役割分担に沿って積極的に行わせる。 <p>☆【関・意・態】 ②③ ☆【思・判】 ①③ ☆【技】 ①② ☆【知・理】 ②</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">第6時～第11時 なか</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ねらい② バット操作やボール操作を工夫して攻防を楽しむ </div> <p>1 集団的技能を身に付ける。 (1) ハーフバッティング (写真7 参照) ○50%～80%の力で, 力を抜いて意識した方向に打ち返す。 ○投げては横からボールをトスする。守備者は打球方向を予測して守る。 (2) シートバッティング ○打者は試合を想定して, 進塁打やゴロ打ちやバントを行う。 ○守備者はボール捕球後, アウトゾーンまでボールを送球する (ゴロ・フライ)。 ○守備者は定位置に守備し, 適時, 打撃者と交代する (1打席は5スイング程度)。</p> <p>2 ゲーム (1) 正式ルールでリーグ戦</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・セルフジャッジ ・時間制 (20分 4～5回が目標) </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○イメージ通りに打つために必要な, ボールをとらえるタイミング, ミートポイントをつかませる。 ○攻撃中心の練習であるが, 守備者もゴロやフライに対して全力でプレーさせる。 ○通常の試合場で行うので, 道具や練習場所の安全に留意して行わせる。 ○攻防練習であることを意識させ, 守備者には正確にボールを捕球できるグラブ操作と, アウトゾーンのねらった場所までボールを返球できる送球動作を身に付けさせる。 ○仲間のプレーに対して積極的にアドバイスさせる。 ○仲間のアドバイスを通して, 課題解決のために必要なプレーのポイントを資料等を参考にしながら選択させる。 ○ジャッジ上の疑義に対しては教師が適切なアドバイスを与える。 ○チームの作戦を意識したゲームができるよう, 意思の疎通を図らせる。 ○試合後の反省から, 自己や自チームの守備・攻撃の課題を見付けさせ, 自己や自チームの実態に適した練習方法を選択させる。 ○積極的に先の塁をねらう走塁を身に付けさせる。 ○道具や場の設定などの準備や後片付けを, 仲間と協力して行わせる。 ○練習場所や試合場所について, 周囲の状況や仲間の動きなど安全に気を配らせる。 <p>☆【関・意・態】 ④⑤ ☆【思・判】 ②④ ☆【技】 ③④ ☆【知・理】 ③④</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">まとめ 第12時</p>	<p>1 単元のまとめと学習の反省をする。 ○学習カードを整理し, 学習の反省をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学習カード (グループ用と個人用) を整理させ, 学習のまとめをさせる。 ○リーダーを中心に積極的に話し合いをさせる。 <p>☆【関・意・態】 ⑥ ☆【思・判】 ⑤</p>

ベースボール型：ソフトボール[第3学年]

(20時間計画)

過程	学習内容と活動	指導・支援(○)と評価(☆)
はじめ	<p>1 オリエンテーションを行う。 ○単元の目標、ソフトボールの特性や技術の名称、行い方を理解し、学習の見通しを持つ。 ○学習の進め方を知る。(約束事・練習の進め方・学習カードの使い方)</p> <p>2 グループ編成と役割分担を決める。 ○班長(経験者)を中心に話し合う。</p> <p>3 準備運動、グループ練習、ソフトボールのルール、学習に関連して高まる体力について知る。</p>	<p>○プリントや補助教材を用いて、ソフトボールの技術の名称や学習の進め方を理解させる。</p> <p>○学習カードの使い方について理解させる。</p> <p>○班長を決めた後、グループを作る。 (男女混合が望ましい)。</p> <p>○グループ練習を実際に模範を見せて、その効果や方法を理解させる。活動場所の安全確保についても指導する。</p> <p>☆【関・意・態】①</p>
なか	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>ねらい① 練習方法やゲームの行い方を工夫して、仲間と連携した攻撃や守備ができるようにする</p> </div> <p>4 個人的技能を身に付ける。</p> <p>(1) キャッチボール ○2人1組のキャッチボール ○3人1組で中継リレー 【資料(4)〈ボール操作〉参照】</p> <p>(2) 送球、捕球 ○2人1組でゴロ、フライの捕球 ○ボール回し 【資料(4)〈ボール操作〉参照】</p> <p>(3) 打撃、バント ○ティーバッティング ○トスバッティング ○ハーフバッティング ○ねらった方向への打ち返し 【資料(4)〈バット操作〉参照】</p> <p>(4) 走塁 ○ベースランニング ○ベースランニングリレー 【資料(4)〈走塁〉参照】</p> <p>5 集団的技能を身に付ける。</p> <p>(1) 守備・走塁 ○シートノック ○ケースノック 【資料(4)〈守備〉参照】</p> <p>(2) 打撃・走塁 ○ケースバッティング 【資料(4)〈打撃〉参照】</p>	<p>○お互いに相手が捕球動作から投球動作にスムーズに移動しやすいところに、投球をコントロールさせる。</p> <p>○捕球から投球への体重移動とステップについて模範を見せて指導する。</p> <p>○自分から声をかけさせ、テンポ良く行わせる。</p> <p>○お互いに相手の技能程度に合わせたゴロ、フライを出すようにさせる。</p> <p>○周囲の状況を確認し、安全に留意して練習をさせる。</p> <p>○高さやコースを確認しながら振らせる。</p> <p>○高さ・コースや試合の状況に合わせた打撃を身に付けさせる。</p> <p>○ベースは真中を踏まずに手前の左端を踏むように模範を見せて指導する。(タイムロスを少なくすること及び滑らないようにするため)</p> <p>○打球や試合の状況に応じた走塁を身に付けさせる。</p> <p>○個人の課題に合った練習方法を選択させる。</p> <p>○仲間同士で技術的なアドバイスができるよう、各個人技能の技術のポイントを理解させる。</p> <p>○チーム内で分担した役割について、責任をもって行わせる。</p> <p>○個人やチームの課題解決のために適した練習を行わせる。</p>

	<p>6 簡易ゲームを行う。</p> <p>タイプブレイク方式</p> <p>無死1, 2塁から 投手は攻撃側から出す (3球以内に打つ, 打たなければバッターアウト, ファールは継続可) 捕手はつけない 後ろでボール拾い, ホームへの送球のキャッチ W・P (リフト・ピッチ) はなし P・B (パス・ボール) はなし 盗塁なし バントなし フォースアウト (タッチでもよい)</p>	<p>*ゲームの工夫のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アウトカウント ・ランナー ・ボールカウント <p>☆【関・意・態】 ②③ ☆【思・判】 ①② ☆【技】 ①② ☆【知・理】 ①②</p>
<p>第10時 な か 第19時</p>	<p>ねらい② 対戦相手に応じて作戦や練習を工夫してゲームができるようにする</p> <p>7 集団的技能を身に付ける。 (1) 守備・走塁 ○シートノック ○ケースノック 【資料(4)〈守備〉参照】 (2) 打撃 ○ケースバッティング 【資料(4)〈打撃〉参照】</p> <p>8 チームの課題に応じた練習を行う。 (1) 守備 ○3人1組で中継リレー ○2人1組でゴロ, フライの捕球 ○ボール回し ○シートノック ○ケースノック (2) 打撃 ○ハーフバッティング ○ねらった方向への打ち返し ○ケースバッティング (3) 走塁 ○ベースランニング ○ケースノック</p> <p>9 ゲームを行う。 ○正式ルールでリーグ戦を行う。</p> <p>・セルフジャッジ ・残り時間10分になった時点で終了</p>	<p>○自分の能力に応じた役割を自覚させ、責任をもって役割を遂行させる。</p> <p>○仲間同士で技術的なアドバイスができるよう、個人的技能のポイントを理解させる。 ○チーム内で分担した役割に責任をもって行わせる。 ○個人やチームの課題解決のために適した練習を行わせる。 ○捕球から投球までの一連の動作がスムーズにできるようにフットワークを身に付けさせる。 ○仲間と連携した守備の動きを身に付けさせる。</p> <p>○高さ・コースや試合の状況に合わせた打撃を身に付けさせる。 ○打球や試合の状況に応じた走塁を身に付けさせる。 ○試合の進め方やルールを理解させ、セルフジャッジによる判定を公正な態度で受け入れさせる。 ○自チームや相手チームの特徴を把握し、チーム内で作戦を立てながらゲームを行うようにさせる。</p> <p>☆【関・意・態】 ④⑤ ☆【思・判】 ③④ ☆【技】 ③④ ☆【知・理】 ③④</p>
<p>ま と め 第20時</p>	<p>10 単元のまとめと学習の反省をする ○学習カードを整理し、反省・まとめをする</p>	<p>○学習カード(グループ用と個人用)を整理させ、学習のまとめをさせる。 ○リーダーを中心に積極的に話し合いに参加させる。</p> <p>☆【関・意・態】 ⑥ ☆【思・判】 ⑤</p>